

大石町谷地区の景観まちづくり

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です

No.2

令和5年3月 発行
松阪市建設部都市計画課



松阪市景観計画を進めています！

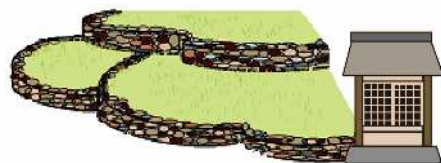
松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

その中で、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区として指定し、市民の皆様にも「もっともっと松阪市の景観を好きになってほしい」との想いで、まちなみの保全に取り組んでいます。

一方、現在運用している松阪市景観計画は、策定から10年以上が経過し、社会情勢の変化による課題も生じていることから、時代に即した改定作業を進めているところです。

新しい松阪市景観計画では、市を代表する文化的な景観を有する地区として「大石町谷地区」を重点地区（候補）として位置づけ、「山抜け※との戦いの歴史」だったと今に伝わる、美しく積まれた石垣の棚田景観を、将来に渡り保全していきたいと考えています。

新しい松阪市景観計画は、令和5年4月から運用を予定しています。



大石町谷地区の棚田

※山抜け：山崩れと同義語。長雨や豪雨により地盤が緩み、斜面が崩壊する現象のこと。



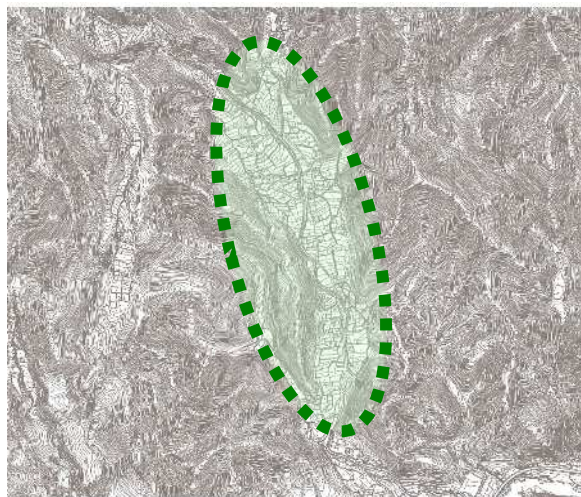
改定松阪市景観計画 記載内容（抜粋）

【大石町 谷地区】良好な景観の形成に関する方針

本地区は、まつさか香肌イレブンの1座である白猪山の麓に広がり、山の斜面に芸術的な石積みみの棚田を見ることができます。

棚田の歴史は、段々田の開墾にはじまり、江戸中期のしゃくぬけ（山津波）で集落は大被害を受け、その教訓の積み重ねにより、山津波に備えた石垣が積み上げられてきたもので、先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれています。

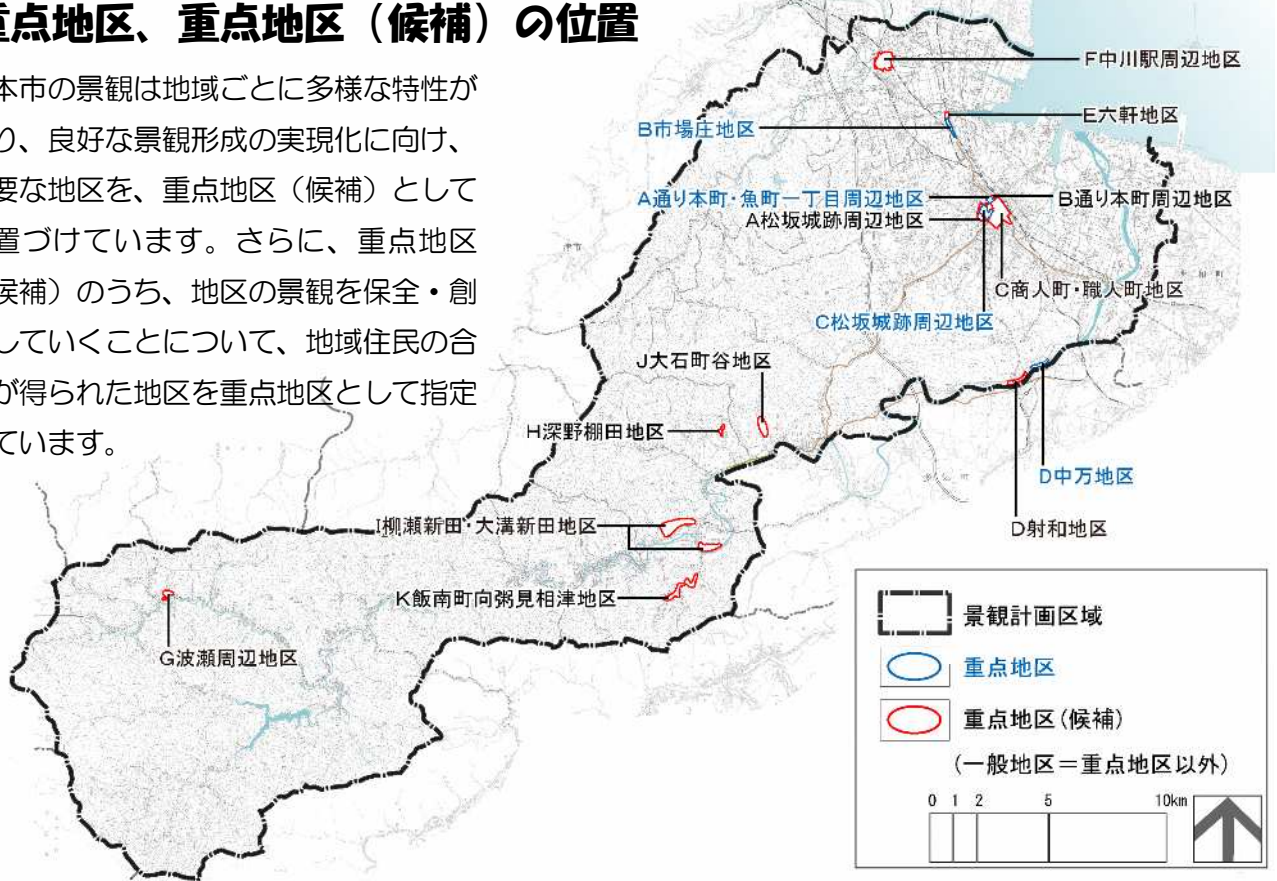
このため、棚田保全に向けたさらなる機運の醸成による棚田の維持管理の促進及び担い手育成を支援し、本市を代表する文化的景観を有する地区として継承します。



重点地区（候補）のエリアと大石町「谷の郷」の棚田

重点地区、重点地区（候補）の位置

本市の景観は地域ごとに多様な特性があり、良好な景観形成の実現化に向け、重要な地区を、重点地区（候補）として位置づけています。さらに、重点地区（候補）のうち、地区の景観を保全・創出していくことについて、地域住民の合意が得られた地区を重点地区として指定しています。



松阪市では「景観交流会」を開催しています！

松阪市では、重点地区と重点地区候補地区で景観まちづくりに取り組む方を中心として、自分達のまちの景観をどのように次の世代へ継承していくか、他地区のまちなみを見学することや情報交換、意見交換を通じて、自分たちの活動方法のヒントになるようなことを得る機会や、景観まちづくり活動の輪が広がることで、連携しあえる仲間を増やして頂くことを目的として開催しています。

令和4年度は松坂城下町で開催！

令和4年度は、松坂城下町の殿町、本町、魚町において松阪ガイドボランティア友の会さんのご案内で、重点地区や候補地区の地域住民など24名の参加で、次のコースをまちなみ散策しました

今後、大石町谷地区においてもこのような機会を設けて、自分達の地域の景観をどのように次の世代へ継承していくかなど、景観まちづくりについて協議を進めながら、景観交流の場を広げていきたいと考えています。皆様からのご参加をお待ちしています。

